

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	竹元 明子								ICT活用	○
授業概要	4年次までに学修してきた臨床栄養学での知識をさらに深め、管理栄養士国家試験にも問題研究する。									
関連する科目	臨床栄養学ⅠⅡⅢⅣ、臨床栄養学実習ⅠⅡⅢ、									
授業の進め方 と方法	管理栄養士国家試験に合格に向けての問題を解く、過去問、模擬試験を活用し理解を深めていく。グループワーク手法も行う。 課題はUNIPAで自伝に配布。									
授業計画 【第1回】	臨床栄養の概念									
授業計画 【第2回】	臨床栄養の概念									
授業計画 【第3回】	医療と臨床栄養									
授業計画 【第4回】	福祉・介護と臨床									
授業計画 【第5回】	栄養ケアプロセス									
授業計画 【第6回】	栄養補給法									
授業計画 【第7回】	経腸栄養補給法・静脈栄養補給法									
授業計画 【第8回】	傷病者・要介護者への栄養教育									
授業計画 【第9回】	薬と栄養・食事の相互作用									
授業計画 【第10回】	栄養障害									

授業計画 【第11回】	肥満・肥満症・メタボリックシンドローム
授業計画 【第12回】	代謝疾患
授業計画 【第13回】	消化器疾患
授業計画 【第14回】	循環器疾患
授業計画 【第15回】	腎・尿路疾患
授業計画 【第16回】	内分泌疾患
授業計画 【第17回】	神経疾患
授業計画 【第18回】	摂食障害
授業計画 【第19回】	呼吸器疾患
授業計画 【第20回】	血液系の疾患
授業計画 【第21回】	筋・骨格疾患
授業計画 【第22回】	免疫・アレルギー疾患
授業計画 【第23回】	感染症
授業計画 【第24回】	がん 手術・周術期 クリティカルケア
授業計画 【第25回】	身体・知的障害
授業計画 【第26回】	妊産婦・授乳婦疾患 乳幼児・小児疾患
授業計画 【第27回】	摂食機能の障害

授業計画 【第28回】	高齢者の疾患
授業計画 【第29回】	乳幼児・小児疾患
授業計画 【第30回】	まとめ 1回～30回では、疾患別の栄養管理についての問題を解いて自分の知識・理解を深める。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	臨床栄養学の知識を実践的なものにしていく。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	以前習った内容を教科書で理解する。(1時間)
授業時間外学習【復習】	回答できなかったところの復習(1時間)
課題に対する フィードバック	問題を解き解説する。
評価方法・基準	小テスト、課題(100点)
テキスト	臨床栄養学で使用した教科書
参考書	とくになし
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	原口 直樹								ICT活 用	○
授業概要	本演習では、管理栄養士として必要な専門知識を深めるとともに、卒業研究を遂行するための基礎的な研究能力を養うことを目的とする。文献検索・文献講読、研究倫理、研究方法、統計解析の基礎、プレゼンテーション技法を学び、栄養教育、臨床栄養、スポーツ栄養、地域栄養等に関する最新の研究動向を理解する。また、演習や討論を通して論理的思考力、課題発見能力、コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学ぶ姿勢を養う。									
関連する科目	栄養教育総論、栄養教育各論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学、臨床栄養学、給食経営管理論、応用栄養学、社会・環境と健康、統計学、卒業研究を履修していることが望ましい。									
授業の進め方 と方法	少人数による演習形式で実施する。教員による解説に加え、学生による文献紹介、プレゼンテーション、グループディスカッションを中心に進める。文献検索、研究倫理、研究方法、統計解析の基礎を段階的に学び、各自が研究課題について考察を深める。必要に応じてICTを活用し、資料配布、課題提出、情報共有を行う。									
授業計画 【第1回】	ガイダンス：授業の目的、到達目標、進め方、評価方法について説明する。専攻演習の位置付けと卒業研究との違いを理解し、研究活動に必要な心構えや年間スケジュールを確認する。									
授業計画 【第2回】	管理栄養士に求められる研究能力：エビデンスに基づく栄養管理（EBN）の重要性を学び、管理栄養士に必要な課題発見能力、論理的思考力、問題解決能力について理解する。									
授業計画 【第3回】	文献検索法①：医中誌Web、PubMed、CiNiiなどの文献検索データベースの特徴を理解し、研究テーマに応じた検索方法やキーワード設定について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	文献検索法②：検索した文献の整理方法、引用文献の管理方法、検索式の工夫、レビュー論文の活用方法について演習を通して習得する。									
授業計画 【第5回】	学術論文の読み方①：学術論文の基本構成（IMRAD）を理解し、タイトル、要旨、緒言から研究背景や研究目的を読み取る方法を学ぶ。									
授業計画 【第6回】	学術論文の読み方②：研究方法、結果、考察の読み方を理解し、研究デザインや統計解析の適切性について評価する視点を身に付ける。									
授業計画 【第7回】	日本語論文講読①：栄養学分野の日本語論文を講読し、研究目的、対象、方法、結果を整理するとともに、内容を要約して発表する。									
授業計画 【第8回】	日本語論文講読②：論文の長所や課題について討論し、研究成果を批判的に読み解く力や論理的に意見を述べる力を養う。									
授業計画 【第9回】	英語論文講読①：英語論文の構成や専門用語を理解し、研究の背景や目的を把握するための読解方法を学ぶ。									
授業計画 【第10回】	英語論文講読②：英語論文を要約し、研究内容や結果について発表・討論を行い、国際的な研究動向への理解を深める。									

授業計画 【第11回】	研究倫理：研究倫理、利益相反、個人情報保護、インフォームド・コンセント、研究不正防止など、研究者として求められる倫理観を学ぶ。
授業計画 【第12回】	研究デザイン：横断研究、縦断研究、介入研究、症例研究などの特徴や長所・短所を理解し、研究目的に応じた研究方法を学ぶ。
授業計画 【第13回】	研究手法：食事調査、身体計測、質問紙調査、生化学的検査など、栄養学研究で用いられる代表的な研究手法について理解する。
授業計画 【第14回】	プレゼンテーション技法：伝わりやすいスライド作成方法、発表の構成、質疑応答への対応方法について学び、発表技術の向上を図る。
授業計画 【第15回】	前期まとめ：前期に学んだ内容を振り返り、文献講読やプレゼンテーションを通して理解を深めるとともに、今後の課題を整理する。
授業計画 【第16回】	統計解析の基礎①：データの種類、尺度、水準、平均値、中央値、標準偏差など、研究に必要な基本的統計指標について理解する。
授業計画 【第17回】	統計解析の基礎②：代表的な統計解析手法（t検定、 χ^2 検定、相関分析など）の特徴と適切な使用場面について学ぶ。
授業計画 【第18回】	データ整理：Excel等を用いたデータ入力、欠損値の確認、データクリーニング、集計方法について演習を行い、データ管理能力を養う。
授業計画 【第19回】	表・グラフ作成：研究成果を適切に示すための表やグラフの作成方法を学び、見やすく分かりやすい資料作成能力を身に付ける。
授業計画 【第20回】	研究テーマの設定：興味・関心や社会的課題をもとに研究課題を整理し、研究テーマを設定するための考え方を学ぶ。
授業計画 【第21回】	先行研究の整理：文献検索を行い、先行研究を比較・整理することで研究の独自性や意義を明確にする方法を学ぶ。
授業計画 【第22回】	研究計画書作成①：研究目的、対象、方法、評価項目、解析方法などを整理し、研究計画書の基本的な作成方法を学ぶ。
授業計画 【第23回】	研究計画書作成②：作成した研究計画を発表し、教員や学生との討論を通して研究計画を改善する。
授業計画 【第24回】	研究計画発表①：研究背景や目的を分かりやすく説明し、質疑応答を通して研究課題を多角的に検討する。
授業計画 【第25回】	研究計画発表②：指摘事項を踏まえて研究計画を改善し、より実現可能性の高い研究計画へと発展させる。
授業計画 【第26回】	ディスカッション演習：研究テーマについて学生同士で意見交換を行い、多様な視点から課題を考察する能力を養う。
授業計画 【第27回】	研究計画のブラッシュアップ：研究目的、方法、評価項目、解析方法を再検討し、卒業研究へ円滑に移行できる研究計画を完成させる。

授業計画 【第28回】	学会発表・論文作成の基礎：学会発表の流れ、抄録の作成方法、ポスター・口頭発表の基本、論文執筆の概要について学ぶ。
授業計画 【第29回】	卒業研究への準備：卒業研究の進め方、年間スケジュール、研究室活動の進め方について確認し、研究開始に向けた準備を行う。
授業計画 【第30回】	総括：一年間の学修内容を振り返り、専攻演習で身に付けた知識・技能を整理するとともに、卒業研究に向けた目標と課題を明確にする。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	本授業終了時に学生は以下のことができる。 1. 専門分野に関する文献を適切に検索・収集できる。 2. 学術論文を読み、内容を要約・考察できる。 3. 研究倫理の重要性を説明できる。 4. 基本的な研究方法を理解できる。 5. プレゼンテーションおよび討論を適切に行うことができる。 6. 卒業研究に向けた研究課題および研究計画を立案できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	授業時間外の学習（予習） 各回のテーマについて、教科書や学術論文等を用いて事前学習を行うこと。文献検索を行い、研究背景や研究方法を整理したうえで演習に臨むこと。また、担当する論文紹介や研究進捗報告の準備として、発表資料を作成し、自らの考えをまとめておくこと。 目安時間：毎回2～3時間程度
授業時間外学習【復習】	授業で取り扱った内容を整理し、配布資料や教科書、学術論文を用いて復習すること。また、紹介された文献を読み返し、専門用語や研究方法について理解を深めること。プレゼンテーション担当者は、指摘事項を踏まえて資料を修正し、次回演習に備えること。 （目安：毎回2時間程度）
課題に対する フィードバック	提出課題およびプレゼンテーションについては、授業内で講評するとともに、改善点や今後の課題について口頭またはLMSを通じてフィードバックを行う。必要に応じて個別指導を実施し、研究計画の改善につなげる。
評価方法・基準	演習への参加・討論20% 文献講読・発表20% 課題・レポート20% 研究計画書・最終発表20% 評価は、知識の習得だけでなく、主体性、論理的思考力、プレゼンテーション能力、討論への参加状況を総合的に評価する。
テキスト	指定教科書は設けない。授業ごとに配布する資料および学術論文を使用する。
参考書	日本栄養改善学会編『栄養科学イラストレイテッド 栄養教育論』羊土社 日本栄養改善学会監修『管理栄養士・栄養士必携』 厚生労働省『日本人の食事摂取基準（2025年版）』 厚生労働省『健康日本21（第三次）』 日本学術振興会『科学の健全な発展のために-誠実な科学者の心得-』
備考	本演習は少人数形式で実施するため、積極的な参加が求められる。授業では文献講読、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に進めるため、事前準備および授業後の振り返りを十分に行うこと。発表資料や課題は指定された期限までに提出すること。なお、本演習で修得した知識・技能を基盤として卒業研究を遂行することを期待する。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山口 昌俊								ICT活 用	○
授業概要	この授業の目的は、担当教員がこれまで経験している医師としての経験をもとに、社会に貢献できる管理栄養士を目指して、科学的視点および専門的知識を持って、良質で安全な栄養・食事管理 を行える力を身につけることである。管理栄養士としての基礎的知識から、身近なテーマを選び、その理論的背景や現状、その対策について、文献およびインターネットなどを利用して情報を収集、共有する。その情報を分析して、プレゼンテーション資料を作成し、セミナー形式によるプレゼンテーションを行い、質疑応答とともにグループディスカッションを行う。									
関連する科目	体と疾病Ⅰ。体と疾病Ⅱ、体と疾病実習Ⅰ。体と疾病実習Ⅱ。臨床医学を受講し、単位修得しておく。									
授業の進め方 と方法	国家試験によく出る疾患に関して、興味を持ったテーマを選び、最新のガイドラインなどを理解し、管理栄養士の国家試験対策について、文献あるいはインターネットなどを利用して情報を収集する。その情報を分析して、プレゼンテーション資料を作成し、セミナー形式によるプレゼンテーションを行う。その内容についてグループディスカッションを行い、理解を深める。									
授業計画 【第1回】	文献等の調査① 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
授業計画 【第2回】	文献等の調査① 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
授業計画 【第3回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成① 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。									
授業計画 【第4回】	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。									
授業計画 【第5回】	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行い、共有する。									
授業計画 【第6回】	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。									
授業計画 【第7回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答① プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									
授業計画 【第8回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答① プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									
授業計画 【第9回】	発表成果のまとめ① 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う									
授業計画 【第10回】	発表成果のまとめ① 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う									

授業計画 【第11回】	文献等の調査② 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第12回】	文献等の調査② 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第13回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成② 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。
授業計画 【第14回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。
授業計画 【第15回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行い、共有する。
授業計画 【第16回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。
授業計画 【第17回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答② プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
授業計画 【第18回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答② プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
授業計画 【第19回】	発表成果のまとめ② 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第20回】	発表成果のまとめ② 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第21回】	文献等の調査③ 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第22回】	文献等の調査③ 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第23回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成③ 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。
授業計画 【第24回】	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。
授業計画 【第25回】	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行い、共有する。
授業計画 【第26回】	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。
授業計画 【第27回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答③ プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。

授業計画 【第28回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答③ プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
授業計画 【第29回】	発表成果のまとめ③ 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第30回】	発表成果のまとめ③ 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. プレゼンテーション討議を通して、基礎的知識の統合と応用力を身につける。【知識・理解の獲得】 2. 関心があるテーマを決定し、それに関する文献等を調べ、その内容をまとめ理解できる。【情報リテラシーの育成】 3. グループ発表・討議のなかで、自らにフィードバックできる。【コミュニケーションスキルの育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	3年次までに修得した臨床医学を中心とした専門科目を復習しておくこと。(約1時間程度は必要と思われる)
授業時間外学習【復習】	他者の発表を見て、評価したり、自分の発表に活かせるようにフィードバックしておくこと。(約1時間程度は必要と思われる)
課題に対する フィードバック	各プレゼンテーションおよびレポートを作成するなかで、その都度、評価・解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 各プレゼンテーションの内容 (30点) 2) 発表および質疑応答の態度 (30点) 3) レポートの内容 (40点)
テキスト	特に指定しないが、適宜必要な文献等を提示する。
参考書	特に指定しないが、適宜必要な文献等を提示する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	生地 暢								ICT活 用	○
授業概要	この授業の目的は、社会に貢献できる管理栄養士を目指して、科学的視点および専門的知識を持って、良質で安全な栄養・食事管理を行える力を身につけることである。管理栄養士としての基礎的知識に重要な位置を占める生化学および食品衛生学の観点から、身近なテーマを選び、その理論的背景や現状、その対策について、文献およびインターネットなどを利用して情報を収集、共有する。その情報を分析して、プレゼンテーション資料を作成し、セミナー形式によるプレゼンテーションを行い、質疑応答とともにグループディスカッションを行う。									
関連する科目	生化学Ⅰ・生化学Ⅱ・生化学実験・食品衛生学・食品衛生学実験を受講し、単位修得しておく。									
授業の進め方 と方法	身近なテーマを選び、その理論的背景や現状、その対策について、文献あるいはインターネットなどを利用して情報を収集する。その情報を分析して、プレゼンテーション資料を作成し、セミナー形式によるプレゼンテーションを行う。その内容についてグループディスカッションを行い、理解を深める。									
授業計画 【第1回】	文献等の調査① 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
授業計画 【第2回】	文献等の調査① 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
授業計画 【第3回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成① 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。									
授業計画 【第4回】	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。									
授業計画 【第5回】	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行い、共有する。									
授業計画 【第6回】	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。									
授業計画 【第7回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答① プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									
授業計画 【第8回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答① プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									
授業計画 【第9回】	発表成果のまとめ① 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。									
授業計画 【第10回】	発表成果のまとめ① 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。									

授業計画 【第11回】	文献等の調査② 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第12回】	文献等の調査② 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第13回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成② 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。
授業計画 【第14回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。
授業計画 【第15回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行い、共有する。
授業計画 【第16回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。
授業計画 【第17回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答② プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
授業計画 【第18回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答② プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
授業計画 【第19回】	発表成果のまとめ② 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第20回】	発表成果のまとめ② 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第21回】	文献等の調査③ 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第22回】	文献等の調査③ 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
授業計画 【第23回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成③ 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。
授業計画 【第24回】	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。
授業計画 【第25回】	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行い、共有する。
授業計画 【第26回】	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。
授業計画 【第27回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答③ プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。

授業計画 【第28回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答③ プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
授業計画 【第29回】	発表成果のまとめ③ 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第30回】	発表成果のまとめ③ 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. プレゼンテーション討議を通して、基礎的知識の統合と応用力を身につける。【知識・理解の獲得】 2. 関心があるテーマを決定し、それに関する文献等を調べ、その内容をまとめ理解できる。【情報リテラシーの育成】 3. グループ発表・討議のなかで、自らにフィードバックできる。【コミュニケーションスキルの育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	3年次までに修得した生化学や食品衛生学を中心とした専門科目を復習しておくこと。(約1時間)
授業時間外学習【復習】	他者の発表を見て、評価したり、自分の発表に活かせるようにフィードバックしておくこと。(約1時間)
課題に対する フィードバック	各プレゼンテーションおよびレポートを作成するなかで、その都度、評価・解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 各プレゼンテーションの内容 (30点) 2) 発表および質疑応答の態度 (30点) 3) レポートの内容 (40点)
テキスト	特にないが、適宜必要な文献等を提示する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	竹之山 慎一								ICT活 用	○
授業概要	4年次に進学するまでに講義あるいは実験・実習等によって習得した食品科学全般の知識をもとに、自主的に食品学分野において幅広く調べ、管理栄養士に向けての演習を行う【知識・理解の獲得】。									
関連する科目	食品学Ⅰ・食品学Ⅱ・食品学早Ⅲ・食品学実験・食品学加工学実習、その他管理栄養学科の必須科目全般を事前に履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業にて、パワーポイントによるプレゼンテーションを用いた授業を展開します。 授業の全般的に下記の授業計画の項目について講義します。その途中に質問項目を投げかけ、グループディスカッション等にて、学びを深められるようにします。 また、適宜授業の進行具合において小テスト、レポート課題等を課します。 さらには専攻演習の最後に、テーマごとのグループディスカッションを行いパワーポイントによる発表を行います。 ICTの活用のために、小テストや課題、授業内容のフィードバックを ユニバーサルパスポートの授業ツール（クラスプロファイル）を活用して行います。									
授業計画 【第1回】	専攻演習の授業計画は以下ののような概要となる。 ・従来の座学「食品学Ⅰ」「食品学Ⅱ」「食品学Ⅲ」の復習 ・従来の実験実習科目「食品学実験」「食品加工学実習」の復習 ・食品学での不明な事項・事例の調査 ・食品に関する文献検索 ・プレゼンテーション・質疑応答									
授業計画 【第2回】	第3～4回 文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）									
授業計画 【第3回】	第5～6回 プレゼンテーション資料を作成（パワーポイントによるプレゼンテーション資料を作成します）									
授業計画 【第4回】	第7～8回 セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）									
授業計画 【第5回】	第9～10回 発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）									
授業計画 【第6回】	第11～12回 食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）									
授業計画 【第7回】	第13～14回 文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）									
授業計画 【第8回】	第15～16回 プレゼンテーション資料を作成（パワーポイントによるプレゼンテーション資料を作成します）									
授業計画 【第9回】	第17～18回 セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）									
授業計画 【第10回】	第19～20回 発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）									

授業計画 【第11回】	第21～22回 食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）
授業計画 【第12回】	第23～24回 文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）
授業計画 【第13回】	第25～26回 プレゼンテーション資料を作成（プレゼンテーション資料を作成を行います）
授業計画 【第14回】	第27～28回 セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）
授業計画 【第15回】	第29～30回 発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）
授業計画 【第16回】	
授業計画 【第17回】	
授業計画 【第18回】	
授業計画 【第19回】	
授業計画 【第20回】	
授業計画 【第21回】	
授業計画 【第22回】	
授業計画 【第23回】	
授業計画 【第24回】	
授業計画 【第25回】	
授業計画 【第26回】	
授業計画 【第27回】	

授業計画 【第28回】	
授業計画 【第29回】	
授業計画 【第30回】	
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	専攻演習で調べた内容により、今まで履修してきた内容と、専攻演習で調べた内容とを総合的に理解を深め、栄養士・管理栄養士として重要な、人間に対する医療を軸とした演習を行い、食品学に関する知識を実践的なものとしていく。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	【予習】教科書・参考書等を熟読し、講義内容を把握しておくこと（1hr）。
授業時間外学習【復習】	【復習】講義内容や配布資料を確認・復習しておくこと（1hr）。
課題に対する フィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲・質疑応答-30点 2) 小テスト・レポート提出-50点 3) プレゼンテーション-20点
テキスト	
参考書	
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習							授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	村上 真珠美								ICT活用	○
授業概要	4年次までに学修してきた臨床栄養学での知識をさらに深め、管理栄養士国家試験にも問題研究する。									
関連する科目	臨床栄養学ⅠⅡⅢⅣ、臨床栄養学実習ⅠⅡⅢ、									
授業の進め方 と方法	管理栄養士国家試験に合格に向けての問題を解く、過去問、模擬試験を活用し理解を深めていく。グループワーク手法も行う。 課題はUNIPAで自伝に配布。									
授業計画 【第1回】	臨床栄養の概念									
授業計画 【第2回】	臨床栄養の概念									
授業計画 【第3回】	医療と臨床栄養									
授業計画 【第4回】	福祉・介護と臨床									
授業計画 【第5回】	栄養ケアプロセス									
授業計画 【第6回】	栄養補給法									
授業計画 【第7回】	経腸栄養補給法・静脈栄養補給法									
授業計画 【第8回】	傷病者・要介護者への栄養教育									
授業計画 【第9回】	薬と栄養・食事の相互作用									
授業計画 【第10回】	栄養障害									

授業計画 【第11回】	肥満・肥満症・メタボリックシンドローム
授業計画 【第12回】	代謝疾患
授業計画 【第13回】	消化器疾患
授業計画 【第14回】	循環器疾患
授業計画 【第15回】	腎・尿路疾患
授業計画 【第16回】	内分泌疾患
授業計画 【第17回】	神経疾患
授業計画 【第18回】	摂食障害
授業計画 【第19回】	呼吸器疾患
授業計画 【第20回】	血液系の疾患
授業計画 【第21回】	筋・骨格疾患
授業計画 【第22回】	免疫・アレルギー疾患
授業計画 【第23回】	感染症
授業計画 【第24回】	がん 手術・周術期 クリティカルケア
授業計画 【第25回】	身体・知的障害
授業計画 【第26回】	妊産婦・授乳婦疾患 乳幼児・小児疾患
授業計画 【第27回】	摂食機能の障害

授業計画 【第28回】	高齢者の疾患
授業計画 【第29回】	乳幼児・小児疾患
授業計画 【第30回】	まとめ 1回～30回では、疾患別の栄養管理についての問題を解いて自分の知識・理解を深める。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	臨床栄養学の知識を実践的なものにしていく。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	以前習った内容を教科書で理解する。(1時間)
授業時間外学習【復習】	回答できなかったところの復習(1時間)
課題に対する フィードバック	問題を解き解説する。
評価方法・基準	小テスト、課題(100点)
テキスト	臨床栄養学で使用した教科書
参考書	とくになし
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	専攻演習					授業形態	演習		
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長友 多恵子							ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、3年次までに習得した公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般の専門知識をもとに、公衆栄養学分野における興味あるテーマを選び、プレゼンテーションを作成することです。まず、文献調査をして内容をしっかり把握したうえで資料を作成し、パソコンを用いたプレゼンテーションを専攻生の前で行い、質疑応答を行う。発表テーマによっては、少人数の班を編成して行う場合もある。								
関連する科目	履修前に、公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般を受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方 と方法	まず、研究テーマを決め、なるべく自主的に、自らの探究心を持って研究を進めます。 研究室の他学生と協力しながら、発表に備えて、3年までに経験し学んだ知識や方法を駆使し、まとめていきます。 パソコンを使用した検索や作図・統計処理を行い、課題の提出の一部は、ユニバのクラスプロフィール上で行います。								
授業計画 【第1回】	文献等の調査 1								
授業計画 【第2回】	文献等の調査 2								
授業計画 【第3回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成 1								
授業計画 【第4回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成 2								
授業計画 【第5回】	文献等の調査 1								
授業計画 【第6回】	文献等の調査 2								
授業計画 【第7回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答 1								
授業計画 【第8回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答 2								
授業計画 【第9回】	発表成果のまとめ 1								
授業計画 【第10回】	発表成果のまとめ 2								

授業計画 【第11回】	文献等の調査 1
授業計画 【第12回】	文献等の調査 2
授業計画 【第13回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成 1
授業計画 【第14回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成 2
授業計画 【第15回】	文献等の調査 1
授業計画 【第16回】	文献等の調査 2
授業計画 【第17回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答 1
授業計画 【第18回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答 2
授業計画 【第19回】	発表成果のまとめ 1
授業計画 【第20回】	発表成果のまとめ 2
授業計画 【第21回】	文献等の調査 1
授業計画 【第22回】	文献等の調査 2
授業計画 【第23回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成 1
授業計画 【第24回】	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成 2
授業計画 【第25回】	文献等の調査 1
授業計画 【第26回】	文献等の調査 2
授業計画 【第27回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答 1

授業計画 【第28回】	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答 2
授業計画 【第29回】	発表成果のまとめ 1
授業計画 【第30回】	発表成果のまとめ 2
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. プレゼンテーションの準備や実施を通して、3年次までに習得した専門内容を再確認する。【知識・理解を応用し活用する能力の獲得】 2. 情報収集、発表計画、コンピュータの活用、プレゼンテーション、コミュニケーションなどの能力を習得する。【問題解決力・問題発見力の獲得】【情報リテラシー（情報利活用力）・数量スキル・論理的思考の獲得】
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	3年次までに習得した公衆栄養学を中心とする専門科目について復習をしておく（1時間）
授業時間外学習【復習】	他者の発表を見て評価したり、自分の発表にフィードバックすることで改善点をまとめておく（1時間）
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションと質疑応答や発表の中でのアドバイスをを行います。
評価方法・基準	取組状況 30点 プレゼンテーション 50点 発表態度 20点
テキスト	使用しない。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川北 久美子								ICT活 用	○
授業概要	管理栄養士として働くために必要な基本的知識である栄養学について、これまで学んだことをもとに演習を通じて総括を行う。また現代における栄養問題についても探求する。									
関連する科目	からだと栄養Ⅰ、Ⅱ、基礎栄養学、からだと栄養実験、基礎栄養学実習を履修し単位を取得しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	与えられたテーマについて提示されたポイントを盛り込んで、レポートを作成し、プレゼンテーションを行う。質疑応答にて知識の確認やディスカッションを行う。									
授業計画 【第1回】	遺伝子発現と栄養素の関わり ・ 遺伝子配列内に存在する個人差を中心にレポートを作成する。									
授業計画 【第2回】	遺伝子発現と栄養素の関わり ・ 遺伝形質－環境因子－栄養との関わり、生活習慣病に関わる遺伝子多型の例を中心にレポートを作成する。									
授業計画 【第3回】	遺伝子発現と栄養素の関わり ・ 第1回目と2回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。									
授業計画 【第4回】	遺伝子発現と栄養素の関わり ・ プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。									
授業計画 【第5回】	消化・吸収と栄養素の体内動態について ・ 三大栄養素の管腔内消化と膜消化や吸収後の栄養素のゆくえを中心にレポートを作成する。									
授業計画 【第6回】	消化・吸収と栄養素の体内動態について ・ 第5回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。									
授業計画 【第7回】	消化・吸収と栄養素の体内動態について ・ プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。									
授業計画 【第8回】	糖質代謝について ・ グルコースからATPが産生される過程やグリコーゲン代謝を中心にレポートを作成する。									
授業計画 【第9回】	糖質代謝について ・ 過栄養、空腹時の代謝を中心にレポートを作成する。									
授業計画 【第10回】	糖質代謝について ・ 第8回目と9回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。									

授業計画 【第11回】	糖質代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業計画 【第12回】	タンパク質代謝について ・アミノ酸代謝を中心にレポートを作成する。
授業計画 【第13回】	タンパク質代謝について ・窒素出納を中心にレポートを作成する。
授業計画 【第14回】	タンパク質代謝について ・第12回目と13回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
授業計画 【第15回】	タンパク質代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業計画 【第16回】	脂質代謝について ・リポタンパク質の構造や脂質が各臓器に取り込まれる過程を中心にレポートを作成する。
授業計画 【第17回】	脂質代謝について ・第16回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
授業計画 【第18回】	脂質代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業計画 【第19回】	ビタミン・ミネラルの相互作用について ・特に骨代謝、鉄代謝、抗酸化系とのかかわりを中心にレポートを作成する。
授業計画 【第20回】	ビタミン・ミネラルの相互作用について ・第19回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
授業計画 【第21回】	ビタミン・ミネラルの相互作用について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業計画 【第22回】	水の代謝について ・体水分の動的平衡、体液のpH調節機構、膠質浸透圧を中心にレポートを作成する。
授業計画 【第23回】	水の代謝について ・第22回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
授業計画 【第24回】	水の代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業計画 【第25回】	エネルギー代謝について ・エネルギー代謝の測定法やエネルギー代謝の概念を中心にレポートを作成する。
授業計画 【第26回】	エネルギー代謝について ・第25回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
授業計画 【第27回】	エネルギー代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。

授業計画 【第28回】	現代における栄養問題 ・情報検索や資料の収集を行う。
授業計画 【第29回】	現代における栄養問題 ・収集した資料をもとにプレゼンテーション資料を作成する。
授業計画 【第30回】	現代における栄養問題 ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 栄養学の知識の定着を図る。【知識・理解の育成】 2. 必要な情報を収集し、その内容をまとめ、プレゼンテーションできる能力を身につける。【汎用的技能の育成】 3. 栄養の諸問題から解決の糸口を見つけ、将来の管理栄養士業務に生かす。【知識・理解を応用し活用する能力の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	関連する教科書や文献を読んでおくこと（約2時間）。
授業時間外学習【復習】	作成したレポートやプレゼンテーション資料をしっかりと確認し、プレゼンテーションに備えること（約3時間）。
課題に対する フィードバック	提出されたレポートは毎回添削などをして返却する。 プレゼンテーションの際は、ディスカッションを通じて訂正、解説をする。
評価方法・基準	レポートの内容・・・40点 プレゼンテーション力・・・30点 学習意欲・受講態度・・・30点
テキスト	特になし。
参考書	関連する科目で使用した教科書。 その他必要に応じて資料や文献を配布する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	木村 志緒								ICT活 用	○
授業概要	国家試験勉強の方法について、国試過去問と模試過去問を用いて、系統的に反復学習するための資料を作成し、ゼミ内で発表・討論し、ブラッシュアップしたものを提出する。									
関連する科目	公衆衛生学、健康管理概論など									
授業の進め方 と方法	グループあるいは個人でテーマを定めて取り組む。 提出資料はPCを用いて作成し、ユニバのクラスプロフィールで提出する。 ゼミ内討論における意見は口頭で伝えたのち、クリッカーにも記録する。 授業計画には「社会分野」で実施した際のモデルケースを示すが、各自で分野を選択してもよい。									
授業計画 【第1回】	健康の概念（国試過去問） ：WHOによる健康の定義などについて学習する。									
授業計画 【第2回】	健康の概念（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。									
授業計画 【第3回】	公害（国試過去問） ：わが国の4大公害や環境に関する国際規約などについて学習する。									
授業計画 【第4回】	公害（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。									
授業計画 【第5回】	がん（国試過去問） ：がんのリスク因子、わが国のがん対策などについて学習する。									
授業計画 【第6回】	がん（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。									
授業計画 【第7回】	感染症（国試過去問） ：感染症法による1～5類の疾患などについて学習する。									
授業計画 【第8回】	感染症（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。									
授業計画 【第9回】	医療制度（国試過去問） ：わが国の医療費や制度のしくみなどについて学習する。									
授業計画 【第10回】	医療制度（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。									

授業計画 【第11回】	地域保健（国試過去問） ：保健所と地域保健センターの違いなどについて学習する。
授業計画 【第12回】	地域保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第13回】	母子保健（国試過去問） ：わが国の母子保健制度や健やか親子21などについて学習する。
授業計画 【第14回】	母子保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第15回】	産業保健（国試過去問） ：労働の5管理などについて学習する。
授業計画 【第16回】	産業保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第17回】	学校保健（国試過去問） ：学校保健を担う職員の役割や学校感染症などについて学習する。
授業計画 【第18回】	学校保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第19回】	高齢者保健（国試過去問） ：介護保険制度などについて学習する。
授業計画 【第20回】	高齢者保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第21回】	国際保健（国試過去問） ：WHO、FAO、UNICEFなどについて学習する。
授業計画 【第22回】	国際保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第23回】	保健統計（国試過去問） ：わが国の死因や年齢調整死亡率などについて学習する。
授業計画 【第24回】	保健統計（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第25回】	水道・熱中症（国試過去問） ：わが国の水道基準や、熱中症対策について学習する。
授業計画 【第26回】	水道・熱中症（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第27回】	疫学手法（国試過去問） ：疫学手法や研究倫理などについて学習する。

授業計画 【第28回】	疫学手法（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第29回】	疫学指標（国試過去問） ：疫学指標やスクリーニング などについて学習する。
授業計画 【第30回】	疫学指標（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	国試過去問を正答するための知識に、模試過去問を正答するための知識を加えていくという一連の流れの中で、国試合格のための知識とスキルを身につける。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	学習時間：30分程度 授業当日のテーマ分の国試過去問をweb上の解説等を見ながらでもよいので通読しておく。
授業時間外学習【復習】	学習時間：30分程度 模擬試験や国家試験に向けて、学習した知識を長期的に定着させるために反復学習を行う。
課題に対する フィードバック	教員が作成したまとめ資料は提出期限以降にユニバの授業資料にアップする。 質問等には授業時間外も含め対応する
評価方法・基準	取組状況および提出資料を総合して評価する。
テキスト	必要に応じて適宜指定する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	出口 佳奈絵								ICT活 用	○
授業概要	本科目では、暮らしと健康に役立つテーマを設定し、栄養と健康の科学的視点を深めることを目的とする。地域特性を活かした食づくりと健康との関連を調査し、客観的な観察力を養う。また、理解しやすいプレゼンテーションスキルを修得し、相互理解と思いやりのあるコミュニケーション力の向上を目指す。専門職として、健康意識の向上や健康問題の改善等を支援するためのに必要な基本的技能を修得する。									
関連する科目	(履修前) 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学 分野									
授業の進め方 と方法	テーマに関する情報収集と成果報告を行い、総括する。 定期的な意見交換を行い、成果報告に役立てる。 テーマごとの成果はプレゼンテーションで報告する。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション① 演習計画と目的について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	オリエンテーション② テーマ設定について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	テーマ(1)に関する文献調査① 健康と栄養に関する情報の収集を学ぶ。									
授業計画 【第4回】	テーマ(1)に関する文献調査② 健康と栄養に関する情報の収集を行う。									
授業計画 【第5回】	テーマ(1)に関する文献調査③ 健康と栄養に関する情報の分析を学ぶ。									
授業計画 【第6回】	テーマ(1)に関する文献調査④ 健康と栄養に関する情報の分析を行う。									
授業計画 【第7回】	テーマ(1)に関する文献調査⑤ 健康と栄養に関する情報の総括を行う。									
授業計画 【第8回】	成果報告① 文献についてプレゼン資料を作成する。									
授業計画 【第9回】	成果報告② 効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。									
授業計画 【第10回】	成果報告③ テーマ(1)のプレゼンテーションを行う。									

授業計画 【第11回】	成果報告④ プレゼンテーションについて質疑応答を行う。
授業計画 【第12回】	テーマ(2)に関する文献調査① 健康と栄養に関する情報の収集を学ぶ。
授業計画 【第13回】	テーマ(2)に関する文献調査② 健康と栄養に関する情報の収集を行う。
授業計画 【第14回】	テーマ(2)に関する文献調査③ 健康と栄養に関する情報の分析を学ぶ。
授業計画 【第15回】	テーマ(2)に関する文献調査④ 健康と栄養に関する情報の分析を行う。
授業計画 【第16回】	テーマ(2)に関する文献調査⑤ 健康と栄養に関する情報の総括を行う。
授業計画 【第17回】	成果報告① 文献についてプレゼン資料の作成を行う。
授業計画 【第18回】	成果報告② 効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。
授業計画 【第19回】	成果報告③ テーマ(2)のプレゼンテーションを行う。
授業計画 【第20回】	成果報告④ プレゼンテーションについて質疑応答を行う。
授業計画 【第21回】	テーマ(3)に関する文献調査① 健康と栄養に関する情報の収集を学ぶ。
授業計画 【第22回】	テーマ(3)に関する文献調査② 健康と栄養に関する情報の収集を行う。
授業計画 【第23回】	テーマ(3)に関する文献調査③ 健康と栄養に関する情報の分析を学ぶ。
授業計画 【第24回】	テーマ(3)に関する文献調査④ 健康と栄養に関する情報の分析を行う。
授業計画 【第25回】	テーマ(3)に関する文献調査⑤ 健康と栄養に関する情報の総括を行う。
授業計画 【第26回】	成果報告① 文献についてプレゼン資料を作成する。
授業計画 【第27回】	成果報告② 効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。

授業計画 【第28回】	成果報告③ テーマ(3)のプレゼンテーションを行う。
授業計画 【第29回】	成果報告④ プレゼンテーションについて質疑応答を行う。
授業計画 【第30回】	総合討論 成果報告について総合的に解説と総括を行う。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	①健康やかに生きるための栄養学について理解を深める。【知識・理解の獲得】 ②分かりやすいプレゼンテーションスキルの向上に努める。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	テーマについて探究する時間をとること。(60分)
授業時間外学習【復習】	適切な成果報告の重要性を自覚し、柔軟に工夫すること。(60分)
課題に対する フィードバック	・ 成果報告に対してコメントを行う。 ・ 成果を集約して総合的に解説する。
評価方法・基準	①成果報告(60%) ②課題提出物(40%) * 客観的な観察力と課題解決力を総合評価する。
テキスト	基礎栄養学・応用栄養学・臨床栄養学分野の教科書
参考書	参考文献は適宜紹介する。
備考	配布資料の整理を行い、学習内容を記録すること。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習							授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	田中 貴絵								ICT活 用	○
授業概要	4年時までには学修してきた調理学の知識をさらに深め、管理栄養士国家試験の問題研究を行う。									
関連する科目	調理学、調理学実習									
授業の進め方 と方法	管理栄養士国家試験合格に向けて問題を解く。 管理栄養士国家試験の過去問題や模擬試験を活用し理解を深める。 グループワークにより探求を深める。 課題はUNIPAやプリントで配布する。									
授業計画 【第1回】	1. オリエンテーション 演習計画について説明 国家試験問題の出題傾向について分析する。									
授業計画 【第2回】	2. 調理学の概念									
授業計画 【第3回】	3. 調理操作の基礎と分類									
授業計画 【第4回】	4. 加熱の原理									
授業計画 【第5回】	5. 炭水化物① 炭水化物の種類と糊化について学ぶ。									
授業計画 【第6回】	6. 炭水化物② 炭水化物の老化について学ぶ。									
授業計画 【第7回】	7. 糖類									
授業計画 【第8回】	8. たんぱく質① アミノ酸、ペプチド、たんぱく質の構造について学ぶ。									
授業計画 【第9回】	9. たんぱく質② 食品中のたんぱく質の変化について学ぶ。									
授業計画 【第10回】	10. 脂質									

授業計画 【第11回】	11. 穀類
授業計画 【第12回】	12. 野菜類
授業計画 【第13回】	13. 果実類
授業計画 【第14回】	14. 豆類
授業計画 【第15回】	15. 肉類
授業計画 【第16回】	16. 魚介類
授業計画 【第17回】	17. 卵・乳・アルコール類
授業計画 【第18回】	18. 加熱調理の比較
授業計画 【第19回】	19. 揚げ物
授業計画 【第20回】	20. 調味
授業計画 【第21回】	21. テクスチャー
授業計画 【第22回】	22. 食中毒
授業計画 【第23回】	23. 衛生管理
授業計画 【第24回】	24. 保存
授業計画 【第25回】	25. 献立作成
授業計画 【第26回】	26. ライフステージ別調理
授業計画 【第27回】	27. 疾患に対応した調理

授業計画 【第28回】	28. 大量調理
授業計画 【第29回】	29. まとめ① 国家試験形式の過去問題を解き、自己分析を行う。
授業計画 【第30回】	30. まとめ② 国家試験形式の過去問を解く。 本演習の総括を行う。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 調理に関する科学的変化について説明できる。 2. 過去問題を根拠をもって解答できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	教科書等を用いてテーマについて探求すること。(1時間)
授業時間外学習【復習】	問題を見直し、正文化を行う。(1時間)
課題に対する フィードバック	課題の結果についてコメントを行う。 課題のテーマ内容について解説を行う。
評価方法・基準	1. 成果報告 (50%) 2. 課題提出物 (50%)
テキスト	参考文献は適宜紹介する。
参考書	調理学、食品学、食品衛生学分野の教科書
備考	配付資料の整理を行い、学習内容を記録すること。